

はじめに

郷土厚真は、明治30年4月1日、苫小牧六カ村戸長役場から分村し厚真村として産声を上げ、昭和35年1月1日、村民の悲願であった町制が施行され厚真町として第一歩を歩み始めました。以来、自治体として110余年、町として50年にわたり先達の皆さんは、幾多の困難を郷土愛を気概として乗り越え、今の時代に生きる私たちにバトンを引き継いでくれました。

そして今、私たちは「いのち満ちる ^{みのり} 農の里あつま 大いなる田園の町 —『農』を生かした協働のまちづくりの推進—」を合言葉に、小さくてもキラリと光るマチを目指し、手を携え駆け抜けているランナーです。その歩みは決して速くないのかもしれませんが、4千9百余人による着実な一步は、とどまることなく確実に前進しています。

広報あつま別冊特集号「平成21年度執行方針と予算 農の里あつま」では、平成21年度の厚真町は、どのようなまちづくりを進めていくのか、施政方針や教育行政執行方針をはじめ、主な事業と予算などについて皆さんにお知らせします。



◆ 町長の施政方針	4
◆ 教育行政執行方針	19
◆ 平成21年度予算の概要	26
◆ 平成21年度の主な事業と予算	30
◆ 町職員の職務と横顔	54
◆ 役場ダイヤルイン電話番号	58
◆ 役場庁舎内等配置図・内線電話案内	59

まちづくりの目標

いのち満ちる ^{みのり} 農の里あつま 大いなる田園の町

「農」を生かした協働のまちづくりの推進

- ・美しい海や川や森や田畑があり、人も健やかに美しく、互いに協働しあってもに生きる町
- ・人間として生きる力の源にある「農」があり、それを生かした文化と産業が盛んな町
- ・自ら生き、自ら住み、自らのふるさとだと実感できる町

まちづくりの基本目標

- まちづくりの基礎となる「環境」
美しい緑のふるさとづくり
環境を守り次代に引き継ぐ
安全で住み心地よい暮らし
- 町の活力と豊かさを表す「経済」
豊かな力のふるさとづくり
働く喜びと豊かさをつくる
- 町の元気さと魅力を育む「人材」
健やかな心のふるさとづくり
地域福祉社会をつくる
学び伸びゆく人 ^{はぐく}を育む
- 住民自治を実現する「地域経営」
自律協働のふるさとづくり
住民自治を推進する